

高橋泰藏名譽教授著述目錄抄

- 昭和八年 (一九三三年)
論文 貨幣的景氣理論と不均衡説の交渉 東京商科大学
研究年報『経済学研究』二
(一九三四年)
- 昭和九年
論文 経済動態論と正常状態の想定 東京商科大学研究
年報『商学研究』三
(一九三七年)
- 昭和十二年
論文 金属貨幣制度と自由主義経済 東京商科大学研究
年報『経済学研究』五
(一九三八年)
- 昭和十三年
論文 経済の循環と国民貯蓄 『一橋論叢』第一卷第三
号
(一九三九年)
- 昭和十四年 (一九三九年)
論文 分配機構としての貨幣経済観——指図証説の貨幣
経済観とその方法的並に社会観的基礎について——
—東京商科大学研究年報『経済学研究』六
—中立貨幣論の発展とその諸問題 『一橋論叢』第
三卷第一号(『文科諸科学学展覧』第二輯に転
- 昭和十五年 (一九〇四年)
論文 発展理論と経済学の性格 『一橋論叢』第六卷第
六号(『文科諸科学学展覧』第三輯に転載)
典型的貨幣造出論と貨幣の循環過程の分析 東京
商科大学研究年報『商学研究』五
山口茂著『流通経済の貨幣的機構』『一橋論叢』
第五卷第四号
ハイエク『利潤、利子及び投資』『一橋論叢』第六
卷第六号
(一九四一年)
- 昭和十六年
著書 貨幣的経済理論の新展開 <最近経済問題双書>
甲文堂書店
経済学に於ける「富」の概念と「価値」の概念
『一橋論叢』第七卷第五号
- 昭和十七年
論文 通貨統制に於ける二つの領域 高瀬莊太郎編井浦
先生還曆記念出版『最近の金融、経済問題』マ

ルサスに於ける富の理論の構造 『一橋論叢』九卷第四号

支那物価現象の特殊性と北支通貨工作の発展 東京大学東亜経済研究所編『東亜経済研究年報』第一輯

昭和一九年 (一九四四年)

論文 経済の循環と資金計画 山口茂編『国家資力の問題』甲文堂

生産力概念の二つの型と戦時生産力の性格 『一橋論叢』第一三卷第二号

昭和二〇年 (一九四五年)

論文 国民所得並びに国民労働の構成と貯蓄の理論 高島佐一郎博士記念論文編集委員会編『戦争経済と戦力増強』千倉書房

昭和二二年 (一九四七年)

著書 国民所得の基本問題〈現代経済学双書三〉東洋経済新報社

昭和二三年 (一九四八年)

論文 雇傭理論の周辺 『一橋論叢』第一八卷第三号

インフレーション進行の法則と現段階〈東洋経済講座双書第二九輯〉東洋経済新報社

貨幣的経済理論の展開(再刊)〈最近経済問題双書〉銀座出版社

経済発展の理論——構想的試論——青也書店

経済発展と雇傭問題——スミス、マルサス、ケインズ——富士出版

昭和二四年 (一九四九年)

著書 経済社会観と貨幣制度 青木書店

共著 国際金融論 国元書房(新庄博共著)

昭和二五年 (一九五〇年)

著書 新しい経済の「構図」 東洋経済新報社

編著 ケインズ「一般理論」講義 全三分冊 春秋社

編纂 昭二五—二六(塩野谷九十九共編) 体系経済学辞典 改訂増補版 東洋経済新報社

昭和二六年 (一九五一年)

論文 信用創造理論覚書 『金融経済』四

「貨幣分析」と貨幣経済理論の構造 『一橋論叢』第二四卷第二号

著書 貨幣的経済理論の展開(再刊)〈學術選書二〉勁草書房

国民所得の基本問題(増補) 東洋経済新報社

Social Accountingと「貨幣経済」の貨幣理論的把握 『理論経済学』第二卷第一号

On the Logical Character of the Monetary Economy, Annals of the Hitotsubashi Academic

my, Vol. 2, No. 1.

昭和二十七年 (一九五二年)

論文 オーバー・ローン現象とその現段階的意味『經濟研究』第三卷第一号

資金循環の経路と機構 山口茂・沖中恒幸共編

『金融理論——現代金融講座——』春秋社

經濟の巨視的理論と貨幣の論理 高垣寅次郎先生還曆記念論文集 『貨幣理論と貨幣制度』同文館

(一九五三年)

昭和二十八年 (一九五三年)

著書 貨幣經濟的循環の理論——巨視的經濟世界像の構造論理を媒介とする——有斐閣

(一九五四年)

昭和二十九年 (一九五四年)

論文 歐米戰時經濟研究問題の一断面 一橋大学『經濟研究』第五卷第三号

(一九五五年)

昭和三十〇年 (一九五五年)

論文 金融論——一橋學問の伝統と反省——『一橋論叢』第三四卷第四号

(一九五六年)

昭和三十一年 (一九五六年)

共編 体系經濟学小辞典 東洋經濟新報社 (増田四郎共編)

論文 經濟社会と企業をつなぐもの——オーバー・ローンと企業資本の異常構造とに因みて——一橋大学『ビジネス・レビュー』第三卷第四号

『交換方程式』の原型と銀行主義理論——サイモ

ン・ニューコムの「交換方程式」——『一橋論叢』第三六卷第三号

英国通貨発行制度の変遷 高垣寅次郎監修 『歐米諸國の金融制度』(下)

(一九五七年)

昭和三十三年 (一九五七年)

著書 金融論入門 宝文館

昭和三十三年 (一九五八年)

共著 交換方程式と現金残高方程式 (經濟分析全書) 勁草書房 (小泉明共著)

典型的貨幣造出論に残された問題 宮田喜代蔵博士記念論文集 同文館

極限概念としての貨幣利率 『一橋論叢』第三九卷第二号

(一九五九年)

昭和三十四年 (一九五九年)

著書 ケインズ「一般理論」研究ノート 春秋社

論文 ヨーゼフ・アロイス・シュムペーター——理論と歴史との接点——『一橋論叢』第四一巻第四号

特集「人と学説」

(一九六〇年)

昭和三十五年 (一九六〇年)

編著 金融 (日本經濟の分析九) 春秋社

貨幣利率論の構造に関する一試論 一橋大学研究年報『商学研究』四

年報『商学研究』四

アメリカにおける商業銀行の「衰退」と「変貌」

高垣寅次郎編『アメリカ經濟の現状分析』

昭和三十六年 (一九六一年)

論文 「再生産表式」書き改めの一視点 『一橋論叢』第

四五卷第一号

“An Interpretation of the Concept of Money Rate of Interest in Keynes' Theory as the 'Grenzbegriff' (Concept of Limitation) in Connection with 'Own-rate of Interest' and its Logical Character in Monetary Economy,” *Hirotsubashi Journal of Commerce and Management*, Vol. 1, No. 1

昭和三十八年 (一九六三年)

論文 トーマス・ロバート・マルサス 『一橋論叢』第四

九卷第四号特集「人と学説」

昭和四〇年 (一九六五年)

共編 体系経済学辞典 東洋経済新報社(増田四郎共

編)——体系経済学小辞典全訂版

論文 技術革新と経済と金融 『金融経済』第九〇号

「企業者」についての一解釈 一橋大学 『ビジネ

昭和四一年 (一九六六年)

共編 金融大辞典 東洋経済新報社(新庄博、塩野谷九

十九共編)

論文 「利潤」概念におけるケインズとシムムヘータ

『国民経済学雑誌』第一一四卷第三号

経済における「変化」と「企業者」 『金融経済』

第一〇〇号

昭和四三年 (一九六八年)

論文 経済現象における「技術」の位置——文化現象と

しての経済現象の構造についての一試論 『一橋論

叢』第五九卷第一号

昭和四四年 (一九六九年)

論文 貨幣経済における貨幣の論理と形態的意味 小泉

明・長沢惟恭編 『金融論の基本問題』東洋経済新

報社経済世界像の構造に関する覚え書 一橋大学

研究年報 『商学研究』一三